

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月29日(火) 一回戦

Gコート 第1試合 本庄総合公園体育館(シルクドーム)

チームA		11 - 14 18 - 8 19 - 8 10 - 11	41	チームB
柴田女子	58			県立松江商業
青森				鳥根

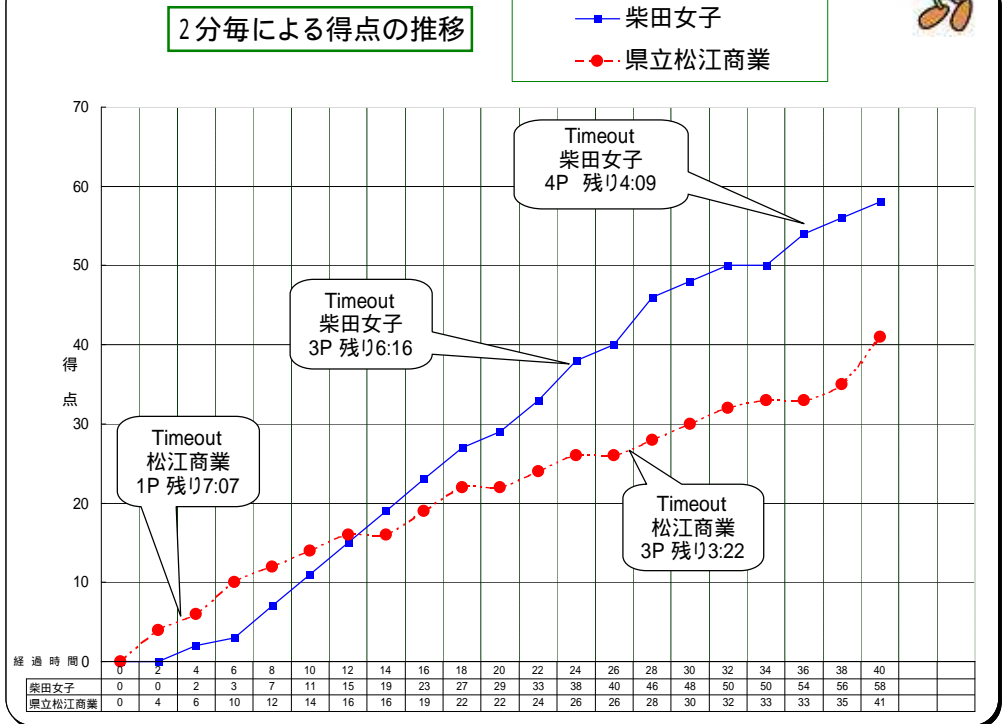
柴田女子

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	下山 由貴	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
5	川崎 結衣	X	10	0	2	2	6	6	8	3	0	5	2	0	1	2	18
6	鳴海 遥香	X	4	0	0	2	2	0	2	1	0	2	1	0	0	0	15
7	田村 奈津子	X	4	0	0	2	4	0	0	2	1	3	2	0	0	2	20
8	福原 夕貴	X	4	0	1	2	4	0	2	0	1	4	0	0	0	2	30
9	五十嵐 桃果	X	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
10	花田 遥歌	X	8	0	1	3	6	2	2	3	1	2	3	0	1	1	20
11	鶴ヶ谷 舞	X	0	0	2	0	9	0	0	1	0	1	1	0	0	0	18
12	佐藤 優紀乃	X	10	0	0	5	12	0	0	3	0	9	1	1	0	1	32
13	工藤 栄里子	X	14	0	2	7	4	0	0	0	1	5	1	1	0	1	32
14	佐々木 静香	X	4	0	0	1	1	2	2	1	2	1	0	1	0	1	9
15	平川 優希	X	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	2
コーチ	小野 尚樹									0	4	5					
出場: ×は先発、/は出場			58	0	8	24	48	10	16	16	10	39	12	3	2	10	200
確率				0.0%		50.0%		62.5%									
											計	49					

県立松江商業

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	岸本 悠花	X	8	1	7	2	10	1	1	1	2	4	1	1	1	0	34
5	渡邊 愛	X	5	0	0	1	13	3	4	1	1	5	3	2	1	1	34
6	倉橋 知美	X	21	0	3	10	15	1	2	3	3	7	2	1	0	0	29
7	山岡 実咲	X	3	0	0	1	2	1	2	0	0	1	1	0	0	0	9
8	舟木 里佳	X	0	0	3	0	2	0	0	2	0	0	3	0	1	0	34
9	渡部 祐麻	X	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
10	山田 香	X	0	0	2	0	2	0	0	4	1	1	0	0	0	0	9
11	中尾 瑠美	X	2	0	0	1	2	0	0	1	0	1	4	2	2	1	27
12	門脇 早紀	X	2	0	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	3
13	吉岡 亜美	X	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	0	0	0	11
14	大谷 ちな美		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	勝部 陽子	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
コーチ	玉井 良典									0	4	4					
出場: ×は先発、/は出場			41	1	17	15	47	8	13	14	11	24	15	6	5	2	200
確率				5.9%		31.9%		61.5%									
											計	35					

2分毎による得点の推移



戦評

平成20年度インターハイ「彩夏到来08埼玉総体」開幕1回戦は、ともに3年ぶりのインターハイ出場となった柴田女子対松江商業の対戦は、両チーム共に激しいディフェンスからの速い攻撃を展開するバスケットを信条とするということで、その試合展開が期待されるなか開始された。両チームともにマンツーマンディフェンスでスタートしたが、両チームともにかたさが目立ち、ファウルやミスが多く、なかなかリズムに乗れない展開となった。柴田女子はフリースローの機会を確実に得点に結びつけ松江商業は#6倉橋の得点を中心にゲームは進み、第1Pは11対14で終了した。第2Pになり柴田女子のディフェンスのリズムがよくなり、ファーストブレイクの機会も増え、開始3分で追いつき逆転してからは着実に得点を伸ばしたのに対し、松江商業はリズムに乗れず、3Pシュートやカットインシュート等多彩に攻めるが得点に結びつかず、点差は開き29対22で前半を終了した。後半に入り、柴田女子はセンター陣を中心に得点を重ねるのに対し松江商業は攻撃が単調となり、#6倉橋のみの得点という状態になり、最後まで柴田女子をつかまえる機会は無のまま終了した。2回戦、昨年度優勝チームへのチャレンジカードは柴田女子が手にした試合となった。

主審	田之口 晃士	副審	土屋 由香	戦評	高橋 弘俊 (埼玉県高体連)
----	--------	----	-------	----	----------------

3P: スリーポイントシュート、2P: 2ポイントシュート、FT: フリースロー、OF: オフェンス、DF: ディフェンス、TO: ターンオーバー、ST: スティール、AS: アシスト、BS: ブロックショット